



このたびの熊本県での地震、そして各地での大雨による水害により、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早く、心穏やかな日常が戻りますことを、心よりお祈り申し上げます。

「地域の中の幼稚園」

副園長 夏井 史子

8月15日には、深川八幡宮例大祭のこども神輿が幼稚園周辺を練り歩き、渡御を行いました。早朝の集合にも関わらず、たくさんの地域の皆さんが集まり、豊洲幼稚園のこどもたちも勇ましく参加していました。

深川大祭といえば、水掛けまつりとして有名です。担ぎ手の無病息災を願って「清めの水」を掛けていきます。沿道の人々が豪快に水を掛けるだけでなく、神輿のすぐ後ろの水を積載したトラックからも水が掛かるものですから、担ぎ手の皆さんは開始早々ずぶ濡れでした。それでも「わっしょい、わっしょい」と威勢よく神輿を担ぐ姿に、豊洲地域の方々の熱い思いを感じました。地域の大切な伝統を今後もこどもたちと共に、受け継いでいきたいと感じました。



話は変わって…。7月・8月の夏休み中の預かり保育では、異年齢の子どもたちが一緒に過ごす中で、心温まる姿がたくさん見られました。年上の幼児が、年下の幼児に優しく声を掛け、遊び方を教えてあげたり、泣いている子にそっとハンカチを差し出してくれたり……。毎日おやつの時間になると、準備の間にこどもたちが主体的に前に出て、クイズを出します。クイズの内容がちょっと年少さんには難しい時もあるのですが、さりげなくヒントを出して、教えてくれる姿も見られます。長期休みならではの、相手の立場を思いやる姿に、こどもたちの成長を感じました。

9月は、実りの秋。自然の移り変わりを感じたり、虫や生き物に興味を沸いたり、こどもたちの探究心も深まっていきます。引き続き豊洲幼稚園では、遊びの充実と、こどもたち主体の保育を教職員一同支えていきたいと思っています。

園舎の改修工事について

現在園舎の周りには、足場が組まれております。いつもと違う園の様子に戸惑うお子さんもいらっしゃると思いますが、工事によって変化していく環境もこどもたちにとっては身近な「なぜ?」「どうして?」が生まれる学びの機会にもなるとも考えております。

ご不便をおかけしますが、こどもたちの安全を第一に、遊びの場を工夫しながら過ごしてまいります。何卒、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。